

## 特殊詐欺の発生状況（平成28年11月末） ～有料サイト利用料金名目の架空請求詐欺が多発～

### 1 県内の特殊詐欺の認知状況（11月末現在）

- 被害認知件数は**87件**（前年同期比－45件）
- 被害総額は**約1億1,505万円**（前年同期比－約2億9,779万円）
- 被害者の**約74%**が65歳以上の高齢者

### 2 11月中の認知状況

- 被害認知件数は**13件**（前年同月比－5件）
- 被害総額は**約1,185万円**
- 手口は
  - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目等） **6件**
  - ・ オレオレ詐欺（キャッシュカード受取等） **4件**
  - ・ 還付金等詐欺（医療費の払戻金名目等） **3件**

### 3 11月中に相次いだ被害

#### ○ 有料サイト利用料金名目の架空請求詐欺

手口～携帯電話に「有料サイトの閲覧履歴があり料金が未納である」「至急記載された連絡先に連絡するように」「連絡がない場合は法的手続きをとる」などという電子メールを送りつけ、不安を感じて連絡してきた被害者に対し、コンビニエンスストアで電子マネーを購入させて、そのカード番号を教えるように要求し、電子マネーをだまし取ります。



**料金を請求する電子メールは無視して下さい。  
「電子マネーを買って番号を教えて」は詐欺です。**

### 4 被害者の年齢・性別構成

	平成28年11月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	1	－	1
20 ～ 29	－	4	4
30 ～ 39	－	2	2
40 ～ 49	1	4	5
50 ～ 59	5	3	8
60 ～ 69	5	4	9
70 ～ 79	4	31	35
80 ～ 89	6	17	23
90 ～	－	－	－
合計	22	65	87

### 5 特殊詐欺全体の被害金交付形態

	平成28年 11月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	<b>50</b>
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	<b>6</b>
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	<b>21</b>
キャッシュカード受取型	<b>10</b>
合計	<b>87</b>